ISO/TC 8/SC 26（スマートシッピング）担当分

議長：Mr Yanqing Li（中国）、幹事国：中国SAC

担当	規格番号	標題	標題（邦訳）	概　要	JIS化の状況
SC26	ISO 4891:2024	Ships and marine technology — Interoperability of smart applications for ships	船舶及び海洋技術—船舶用スマートアプリケーションの相互運用性	この文書は、スマートアプリケーションの操作上の必要要件及び性能要件を取り纏めたもの【ドイツ主導】。 この規格で定めるスマートアプリケーションは、人間（ヒューマンマシンインターフェイス/スマートフォン）、IOT/センサー、及び第三者システムを通じて、書類提出、プロセス管理、接続、及びデータ収集に適用でき、ISO 21745「電子ログブック－技術仕様及び操作上の必要要件」（パナマが主導の形をとりつつ、実質日本が作成したISO規格）を補足する規格でもあるとしている。 2020年9月開催のISO/TC8/SC6/WG18会議での審議の結果、この提案でのスマートログブックとは、モバイル又は固定機器（データサーバー）で電子ログブックデータと双方向でデータのやり取りができるほか、船内機器からも情報収集が可能で（機器→スマートログブックの一方向）、収集したデータを船橋又は陸上に取組みであることが分かった。 2021年9月14日の国際会議の結果、TC8/SC6からTC8へ移管することになり、TC8およびTC8/SC6において、2021年11月9日を締切とした移管に向けた投票が実施され、TC8への移管が承認された。その後、ISO/TC 8/SC 26設置に伴い、SC26へ移管された。	ー
SC26	ISO 15849:2001	Ships and marine technology -- Guidelines for implementation of a fleet management system network	船舶及び海洋技術－フリートマネジメントシステムネットワークの実施のための指針	この文書は、船主及びフリートマネジメントシステム（FMS）ネットワーク・コンピュータ・サービスの運用者に、その選定と実施についての概要と、実施の際の指針について取り纏めたもの。この規格には次のものが含まれている。 a)広域ネットワーク、データ伝送サービス及び共通のデータベース設備を含む、一般的インフラストラクチャーに関する指針 b)アプリケーションプログラムへのサービスを含む、船上設備に関する指針	JIS F 0075:2003 (IDT)
SC26	ISO 15849:2001/Amd 1:2003	同上	ISO 15849:2001追補1:2003	この文書は、ISO 15849に規定されているSITP（Ship Information Technology Platform）及びLITP（Land-based Information Platform）に適用される場合のアプリケーション・プログラム・インターフェースの設計仕様書の例を附属書Aとして追加したもの。	同上
SC 26	ISO 17894:2005	Ships and marine technology -- Computer applications -- General principles for the development and use of programmable electronic systems in marine applications	船舶及び海洋技術－コンピュータアプリケーション－船舶用プログラマブル電子系の開発及び使用に関する一般原則	この文書は、信頼性のある船舶用プログラマブル電子系の開発並びに使用に関する必須原則、推奨判定基準及び関連指針について取り纏めたもの。 TC 8/SC 8からTC 8/SC 26へ移管された。	JIS F 8082:2007 (IDT)
SC26	ISO 18131:2025	Ships and marine technology — General requirements for publish-subscribe architecture on ship-shore data communication	船舶及び海洋技術－パブリッシュ・サブスクライブ方式の船陸間同期通信の一般要件	この文書は、船陸間データ通信におけるパブリッシュ/サブスクライブ方式に関する要件を取り纏めており、造船業界、海運会社、機器メーカー、港湾および陸上サービスプロバイダーなどの利害関係者がパブリッシュ/サブスクライブ方式で船陸間通信を行うことを取り纏めたもの。【韓国主導】 この文書では以下を取り纏めている。 — ブローカー、パブリッシャー、サブスクライバーの役割の定義 — クラウド環境におけるマルチテナンシーベースのデータ管理システムの定義 — パブリッシュ・サブスクライブ方式の一般要件 — データの機密性、完全性、可用性を確保するためのセキュリティ要件 — データの命名規則とデータ構造の設定	ー
SC26	ISO 23807:2023	Ships and marine technology — General requirements for the asynchronous ship-shore data communication	船舶及び海洋技術－非同期の船陸間データ伝送の一般要件	ISO 19847で定める船内データサーバー等で収集した船上搭載機器及びシステムからのデータを、非同期で陸側と通信、共有するための要件（機能要件等）を取り纏めたもの【日本主導】。 この文書は、船上データサーバーから陸上データサーバーへの船舶間データ通信に関する以下の要件を取り纏めている。 •エンドツーエンドの通信品質を測定する方法 •非同期および同期通信 •トランスポートの整合性 •トランスポートセキュリティ（暗号化、認証、承認など） •データ送信の管理（優先順位付け、ログ記録、通信事業者の認識/管理など） •通信の最適化（重複排除、圧縮、再開、多重化など） •ISO 19847を含むがこれに限定されないデータ通信プロトコルへの準拠 また、この文書は以下をカバーしていない。 •データプロデューサー/コンシューマーのセキュリティー（ID管理など） •通信機器の要件 •帯域幅や遅延などの性能要件	ー
SC26	ISO/TS 23860:2022	Ships and marine technology -- Vocabulary related to autonomous ship systems	船舶及び海洋技術 – 自律船舶システムに関する用語	この文書は、自動化システム自体及びその分類を含む、自動運航船（MASS）の自動化システムの運航過程に関連して、MASSの概念を記述するための専門用語を定義したもの【ノルウェー主導】。 この規格の開発情報をIMOに報告するため、ISOはIMO/MSC 101、102および103へISOとして文書を提出している。	ー
SC26	ISO/FDIS 25750	Ships and maritime technology — Secured Ship Network (SSN)	船舶及び海洋技術—安全な船舶ネットワーク（SSN）	この文書は、IPv4 または IEC 61162 シリーズ、その他の ISO、および業界標準に基づく異なるプロトコルでデータが収集される場合でも、IPv6 のイーサネットプロトコルに基づいてブリッジ、エンジンルーム、および貨物システムからデータを収集するために使用される、イーサネットプロトコル経由の安全な船舶ネットワークの最小要件を取り纏めたもの。【韓国主導】 DIS投票では、「賛成・意見付き（編集上）」の日本回答を実施。	ー

SC26	ISO/AWI 25922	Ships and marine technology — Method for defining and allocating capabilities and responsibilities between maritime autonomous surface ships and their remote operators	船舶及び海洋技術—自動運航船及び遠隔操船者の能力と責任の定義及び割り当て方法	この文書は、自動運航船及び遠隔操船者の能力と責任の定義及び割り当て方法を取り纏めたもの。【韓国・ノルウェー主導】 NP投票では、「賛成・意見無し」の日本回答を実施。	–
SC26	ISO/WD 25926	Ships and marine technology — Autonomous Navigation System Architecture with Centralized Status Management Function for MASS	船舶及び海洋技術—自動運航船の集中ステータス管理機能を備えた自律航法システムアーキテクチャ	集中ステータス管理機能を備えた、自動運航船の自律航法システムアーキテクチャを取り纏めたもの。【日本主導】 1stWD照会中。この照会で提出された意見を審議する国際会議を2026年12月2～3日にオンラインで開催予定。	–
SC26	ISO/AWI 25927	Ships and marine technology — Guideline for test scenario generation process for collision avoidance for MASS	船舶及び海洋技術—自動運航船向けの衝突回避のための試験シナリオ生成プロセスに関するガイドライン	この文書は、自動運航船の衝突回避機能を検証するためのテストシナリオ生成プロセスを取り纏めたもの。COLREGに準拠した典型的な遭遇状況（行き会い、横切り、追い越しなど）に基づき、シミュレーションや実船において、外洋や制限海域（港湾、狭い水路など）での衝突回避試験に適用する。【中国主導】 NP投票では、下記意見を添えて、「棄権・意見付き」の日本回答を実施。 ・本提案は、IMO/MASSの非強制コードでも機能要件や性能要件については十分に議論されてなく、時期尚早である。 ・衝突回避機能について、一部な先進的な国がルールの検討及び実行を開始しているが流動的であるため、機能要件や性能要件、試験規格等具体的要件に踏み込まないことを改めて要請する。	–
SC26	ISO/CD 25928	Ships and marine technology — Smart shipping — Software functional-safety management for MASS	船舶及び海洋技術—自動運航船のソフトウェア機能安全マネージメント	自動運航船のソフトウェア機能安全マネージメントを取り纏めたもの。【韓国主導】 WG照会では、「意見無し」の日本回答を実施。 CD照会では、IMO/MASS codeのMASSの定義との不一致やのソフトウェアの安全上の重要度ランクを示す、船上安全度水準（Shipboard Safety Integrity Level（SSIL））の決定の一貫性を指摘する意見を提出した。	–
SC26	ISO/AWI 25929	Ships and marine technology — Method to determine minimum safe lookout area for MASS	船舶及び海洋技術—自動運航船の最小見張りエリアを決定する方法	自動運航船の最小見張りエリアを決定する方法を取り纏めたもの。【中国主導】 NP投票では、下記意見を添えて、「反対・意見付き」の日本回答を実施。 ・本提案は、IMO/MASS codeドラフトのSituational Awarenessに関連する。また、本提案は実証実験を伴わず、学術段階のため、ISO規格化は時期尚早である。	–
SC26	ISO/AWI 25930	Ships and marine technology — Specification of Operational Design Domain and Operational Envelope for MASS	船舶及び海洋技術— 自動運航船の運用設計領域（ODD）および運用範囲（OE）の仕様	自動運航船の運用設計領域（ODD）および運用範囲（OE）の仕様を取り纏めたもの。【英国主導】 2025年5月にオスロで開催された、ISO/TC 8/SC 26総会でPWIIに登録された。 2026年8月にNP投票で規格作成着手が承認された。	–
SC26	ISO/AWI 25931	Ships and Marine Technology — Berthing and unberthing ship-end data requirement of situational awareness system	船舶及び海洋技術—状況認識システムの着桟および離着桟に関するデータ要件	状況認識システムの着桟および離着桟に関するデータ要件を取り纏めたもの。【中国主導】 NP投票では、下記意見を添えて、「反対・意見付き」の日本回答を実施。 ・本提案は、IMO/MASS codeドラフトのSituational Awarenessに関連する。また、本提案は実証実験を伴わず、学術段階のため、ISO規格化は時期尚早である。	–
SC26	ISO/AWI 25932-1	Ships and marine technology — Smart Shipping — Part 1:: Smart inspection for navigation light installation	船舶及び海洋技術—スマートシッピング—第1部：航海灯設置のためのスマート検査	航海灯（マスト灯・舷灯・船尾灯）の水平射光範囲を測定するためのスマート検査方法を取り纏めたもの。【中国主導】 NP投票では、「賛成・意見無し」の日本回答を実施。	–
SC26	ISO/AWI 25932-3	Ships and marine technology — Smart shipping — Part 2: Smart inspection for radar blind area	船舶及び海洋技術—スマートシッピング—第2部：レーダーの死角におけるスマート検査	Xバンド（8～12GHz）およびSバンド（2～4GHz）の船舶用レーダーにおける、レーダーの死角のスマート検査方法を取り纏めたもの。【中国主導】 NP投票では、「賛成・意見無し」の日本回答を実施。	–
SC26	ISO/WD 25933	Test methods and required results for secured ship network (SSN)	安全な船舶ネットワーク（SSN）の試験方法及び試験結果	ISO 25750（安全な船舶ネットワーク（SSN））の試験方法と要求される試験結果を取り纏めたもの。【韓国主導】 NP投票では、「賛成・意見無し」の日本回答を実施。	–
SC26	ISO/CD 25934.2	Ships and marine technology — Guidelines for the development of verification procedures for autonomous navigation systems	船舶及び海洋技術—自動航行システムの検証手順の開発に関するガイドライン	自動航行システム（ANS）の承認手順の開発に関するガイドライン取り纏めたもの。【韓国主導】 NP投票では、下記趣旨の意見を添えて、「棄権・意見付き」の日本回答を実施。 自動航行システムの承認手順の開発に関するガイドラインと広い一方で、中身がリスクベースの機能要件とライフサイクルの書類管理を中心とするフレームワークとかなり絞った内容となっていることや、自動航行システム（ANS）の承認に関して、日本では、リスクアセスメントを使っている。 下記（1）又は（2）の変更提案を提案する。 （1）タイトルのを中身に合わせて小さくする。 （2）タイトルをこのままとするのであれば、中身を幅広いANSを受け入れられるように広げる。 （2）の場合には、IMOのMASS CODEとの関係を明確にし、MASS Codeの求めるverificationの方法を、具体的にどのように実現するのか、各国が受け入れられる形で記載することが求められる。	–